

平成25年度奈良県立高等学校 入学者選抜学力検査等の出題範囲

- 1 学力検査の出題範囲は、中学校学習指導要領（平成10年文部省告示第176号）に示されている第1学年及び第2学年の内容、中学校学習指導要領（平成20年文部科学省告示第28号）に示されている第3学年の内容及び中学校学習指導要領の特例（平成20年文部科学省告示第99号）に定める内容とする。
- 2 中学校学習指導要領（平成20年文部科学省告示第28号）への移行措置により、学力検査等における「数学」と「理科」の出題範囲に、次の内容を含めます。

「数学」…平成21年度から先行実施されている中学校第1学年の内容
「理科」…平成21年度から先行実施されている中学校第1、2学年の内容

したがって、すでに中学校を卒業されている方が入学者選抜を受検する場合は、第3学年の全ての教科、第1学年の「数学」及び第1学年と第2学年の「理科」の出題範囲に、**中学校で学習しなかった内容が追加される**こととなります。

- 3 「数学」と「理科」で「追加された内容」とは、「表1 中学校数学」、「表2 中学校理科」の右欄（「新課程」欄）にある**ゴシック体（太字）**で示した項目を指します。

[関連資料]

- 中学校学習指導要領（平成20年文部科学省告示第28号）

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/chu/index.htm

- 中学校学習指導要領の特例（平成20年文部科学省告示第99号）

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/ikou/006.pdf

- 中学校数学及び中学校理科の移行措置について

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/ikou/008.pdf

表1 中学校数学
第1学年（平成21～23年度）

現行課程	新課程
<p>A 数と式</p> <p>(1) 正の数・負の数</p> <p>ア 正の数と負の数の意味</p> <p>イ 正の数と負の数の四則計算の意味と計算</p> <p>(2) 文字を用いた式</p> <p>ア 文字を用いることの意味</p> <p>イ 文字を用いた式における乗法・除法</p> <p>ウ 簡単な一次式の加法・減法</p> <p>(3) 一元一次方程式</p> <p>ア 方程式などの意味</p> <p>イ 等式の性質と方程式</p> <p>ウ 簡単な一元一次方程式の解法と利用</p>	<p>A 数と式</p> <p>(1) 正の数・負の数</p> <p>ア 正の数と負の数の必要性和意味</p> <p>イ 正の数と負の数の四則計算の意味</p> <p>ウ 正の数と負の数の四則計算</p> <p>エ 具体的場面における表現や処理</p> <p>【内取3(1) 数の集合と四則計算の可能性】</p> <p>(2) 文字を用いた式</p> <p>ア 文字を用いることの意味</p> <p>イ 文字を用いた式における乗法・除法</p> <p>ウ 簡単な一次式の加法・減法</p> <p>エ 文字を用いた式による表現や読み取り</p> <p>【内取3(2) 不等式】</p> <p>(3) 一元一次方程式</p> <p>ア 方程式などの意味</p> <p>イ 等式の性質と方程式</p> <p>ウ 簡単な一元一次方程式の解法と活用</p> <p>【内取3(3) 簡単な比例式】</p>
<p>B 図形</p> <p>(1) 平面図形</p> <p>ア 線対称、点対称</p> <p>イ 基本的な作図とその利用</p> <p>(2) 空間図形</p> <p>ア 空間における直線や平面の位置関係</p> <p>イ 空間図形の構成や表現</p> <p>【内取3(4) 投影図は扱わない】</p> <p>ウ 扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体、錐体の表面積と体積</p>	<p>B 図形</p> <p>(1) 平面図形</p> <p>イ 平行移動、対称移動、回転移動</p> <p>ア 基本的な作図とその活用</p> <p>(2) 空間図形</p> <p>ア 空間における直線や平面の位置関係</p> <p>イ 空間図形の構成や表現</p> <p>【内取3(5)のうち「投影図」】</p> <p>ウ 扇形の弧の長さや面積、基本的な柱体、錐体、球の表面積と体積</p>
<p>C 数量関係</p> <p>(1) 比例、反比例</p> <p>ア 比例・反比例の意味</p> <p>イ 座標の意味</p> <p>ウ 比例・反比例の特徴</p> <p>エ 比例・反比例の活用</p> <p>〔用語・記号〕 変数 変域</p>	<p>C 関数</p> <p>(1) 比例、反比例</p> <p>ア 関数関係の意味</p> <p>イ 比例・反比例の意味</p> <p>ウ 座標の意味</p> <p>エ 比例・反比例の特徴</p> <p>オ 比例・反比例を用いた具体的な事象の説明</p> <p>〔用語・記号〕 関数 変数 変域</p>
	<p>D 資料の活用</p> <p>(1) 資料の散らばりと代表値</p> <p>ア ヒストグラムや代表値の必要性和意味</p> <p>イ ヒストグラムや代表値による資料の傾向の把握と表現</p> <p>【内取3(6) 誤差や近似値、$a \times 10^n$】</p> <p>〔用語・記号〕 平均値 中央値 最頻値 相対度数 範囲 階級</p>

※ 内取…中学校学習指導要領における「内容の取扱い」を表す。
 ※ 〔用語・記号〕については、各分野のうち移行措置関係のみ抜粋。

第2学年（平成21～23年度）

現行課程	新課程
<p>A 数と式</p> <p>(1) 文字を用いた式の四則計算</p> <p>ア 簡単な整式の加法・減法，単項式の乗法・除法</p> <p>イ 文字式の利用</p> <p>ウ 目的に応じた式の変形</p> <p>(2) 連立二元一次方程式</p> <p>ア 二元一次方程式とその解の意味</p> <p>イ 連立方程式とその解の意味</p> <p>ウ 連立方程式の解法と利用</p>	<p>A 数と式</p> <p>(1) 文字を用いた式の四則計算</p> <p>ア 簡単な整式の加法・減法，単項式の乗法・除法</p> <p>イ 文字式の利用</p> <p>ウ 目的に応じた式の変形</p> <p>(2) 連立二元一次方程式</p> <p>ア 二元一次方程式とその解の意味</p> <p>イ 連立方程式とその解の意味</p> <p>ウ 連立方程式の解法と活用</p>
<p>B 図形</p> <p>(1) 平面図形と平行線の性質</p> <p>ア 平行線や角の性質</p> <p>イ 多角形の角の性質</p> <p>(2) 図形の合同</p> <p>ア 証明の意義と方法</p> <p>イ 三角形の合同条件，三角形や平行四辺形の性質の論証（新ではア・ウに分割）</p> <p>ウ 円周角と中心角の関係 〔→ H22年度から，第3学年で指導〕</p>	<p>B 図形</p> <p>(1) 平面図形と平行線の性質</p> <p>ア 平行線や角の性質</p> <p>イ 多角形の角の性質</p> <p>(2) 図形の合同</p> <p>イ 証明の必要性和意味及びその方法</p> <p>ア 三角形の合同条件</p> <p>ウ 三角形や平行四辺形の性質の論証</p>
<p>C 数量関係</p> <p>(1) 一次関数</p> <p>ア 事象と一次関数</p> <p>イ 一次関数のグラフの特徴と利用</p> <p>ウ 二元一次方程式と関数との関係</p> <p>(2) 確率</p> <p>ア 起こり得る場合</p> <p>イ 確率の意味と求め方</p>	<p>C 関数</p> <p>(1) 一次関数</p> <p>ア 事象と一次関数</p> <p>イ 一次関数の特徴</p> <p>ウ 二元一次方程式と関数との関係</p> <p>エ 一次関数を用いた具体的な事象の説明</p> <p>D 資料の活用</p> <p>(1) 確率</p> <p>ア 確率の意味と求め方</p> <p>イ 確率を用いた不確定な事象の説明</p>

※ 内取…中学校学習指導要領における「内容の取扱い」を表す。

※〔用語・記号〕については、各分野のうち移行措置関係のみ抜粋。

表2 中学校理科
第1学年（平成21～23年度）

	現行課程	新課程
第1分野	(1) 身近な物理現象 ア 光と音 (ア) 光の反射・屈折 (イ) 凸レンズの働き (ウ) 音の性質 イ 力と圧力 (ア) 力の働きと力のつり合い [→後半は第3学年の(5)ア(ア)に移行] (イ) 圧力 【内取3(2) オ 水圧は扱わない】	(1) 身近な物理現象 ア 光と音 (ア) 光の反射・屈折 (イ) 凸レンズの働き (ウ) 音の性質 イ 力と圧力 (ア) 力の働き 【内取3(2) エ 力とばねの伸び、重さと質量の違い】 (イ) 圧力 (水圧を含む) 【内取3(2) オ 水圧、浮力】
	(2) 身の回りの物質 ア 物質のすがた (ア) 物質のすがた 【内取3(3) アのうち「密度」に関する部分】 (イ) 状態変化と体積変化 (ウ) 気体の発生と性質 イ 水溶液 (ア) 水溶液 (イ) 酸・アルカリ・中和 [→ H23の移行措置で第3学年で指導]	(2) 身の回りの物質 ア 物質のすがた (ア) 身の回りの物質とその性質 【内取3(3) アのうち「代表的なプラスチックの性質】 ウ 状態変化 (ア) 状態変化と熱 【内取3(3) オ 粒子のモデル、粒子の運動】 (イ) 物質の融点と沸点 ア 物質のすがた (イ) 気体の発生と性質 イ 水溶液 (ア) 物質の溶解 (イ) 溶解度と再結晶 【内取3(3) ウ 粒子のモデル、質量パーセント濃度】
第2分野	(1) 植物の生活と種類 ア 生物の観察 イ 植物の体のつくりと働き (ア) 花のつくりと働き (イ) 葉・茎・根のつくりと働き ウ 植物の仲間 (ア) 種子植物の仲間	(1) 植物の生活と種類 ア 生物の観察 イ 植物の体のつくりと働き (ア) 花のつくりと働き (イ) 葉・茎・根のつくりと働き ウ 植物の仲間 (ア) 種子植物の仲間 (イ) 種子をつくらぬ植物の仲間 【内取3(2) エ シダ植物やコケ植物が胞子をつくること】
	(2) 大地の変化 ア 地層と過去の様子 イ 火山と地震 (ア) 火山活動と火成岩 【内取3(3) イ 火山岩・深成岩は各1種類】 (イ) 地震の伝わり方と地球内部の働き	(2) 大地の成り立ちと変化 イ 地層の重なりと過去の様子 【内取3(3)ウのうち「断層、褶曲】 ア 火山と地震 (ア) 火山活動と火成岩 【内取3(3) アのうち「火山岩及び深成岩は代表的な岩石を扱う】 (イ) 地震の伝わり方と地球内部の働き

※ 内取…中学校学習指導要領における「内容の取扱い」を表す。

第2学年（平成22・23年度）

	現行課程	新課程
第1分野	<p>(3) 電流とその利用</p> <p>ア 電流</p> <p>(7) 静電気と電流</p> <p>(イ) 回路と電流・電圧</p> <p>(ウ) 電流・電圧と抵抗</p> <p>イ 電流の利用</p> <p>(7) 電流と磁界</p> <p>(イ) 磁界中の電流が受ける力</p> <p>(ウ) 電気と光・熱</p> <p>【内取3(4) オ 電力量の概念は扱わない。定量的な扱いはしない。】</p>	<p>(3) 電流とその利用</p> <p>ア 電流</p> <p>(エ) 静電気と電流</p> <p>【内取3(4) エ 電流が電子の流れであること】</p> <p>(7) 回路と電流・電圧</p> <p>(イ) 電流・電圧と抵抗</p> <p>(ウ) 電気とそのエネルギー</p> <p>【内取3(4) ウ 電力量、熱量】</p> <p>イ 電流と磁界</p> <p>(7) 電流がつくる磁界</p> <p>(イ) 磁界中の電流が受ける力</p> <p>(ウ) 電磁誘導と発電</p> <p>(このうち「直流と交流の違い」)</p>
	<p>(4) 化学変化と原子・分子</p> <p>ア 物質の成り立ち</p> <p>(7) 物質の分解</p> <p>(イ) 原子・分子</p> <p>イ 化学変化と物質の質量</p> <p>(7) 化合と化学反応式</p> <p>(イ) 化学変化と物質の質量</p>	<p>(4) 化学変化と原子・分子</p> <p>ア 物質の成り立ち</p> <p>(7) 物質の分解</p> <p>(イ) 原子・分子</p> <p>イ 化学変化</p> <p>(7) 化合</p> <p>(イ) 酸化と還元 【→現行(6) アから移行】</p> <p>【内取3(5) 簡単なものを扱う】</p> <p>(ウ) 化学変化と熱 【→現行(6) アから移行】</p> <p>ウ 化学変化と物質の質量</p> <p>(7) 化学変化と質量の保存</p> <p>(イ) 質量変化の規則性</p>
第2分野	<p>(3) 動物の生活と種類</p> <p>ア 動物の体のつくりと働き</p> <p>(7) 動物の体とつくりの働きの観察</p> <p>(イ) 刺激と反応</p> <p>(ウ) 生命を維持する働き</p> <p>イ 動物の仲間</p> <p>(7) 動物の仲間</p>	<p>(3) 動物の生活と生物の変遷</p> <p>ア 生物と細胞</p> <p>イ 動物の体のつくりと働き</p> <p>(イ) 刺激と反応</p> <p>(7) 生命を維持する働き</p> <p>ウ 動物の仲間</p> <p>(7) 脊椎動物の仲間</p> <p>【内取3(4) ウ 脊椎動物の体の表面の違い等】</p> <p>(イ) 無脊椎動物の仲間</p> <p>【内取3(4) エ 節足動物や軟体動物の観察と脊椎動物との比較】</p> <p>エ 生物の変遷と進化</p> <p>【内取3(4) オ 進化の証拠や具体例、生息環境での生活に都合のよい特徴】</p>
	<p>(4) 天気とその変化</p> <p>ア 気象観測</p> <p>イ 天気の変化</p> <p>(7) 霧や雲の発生</p> <p>(イ) 前線の通過と天気の変化</p>	<p>(4) 気象とその変化</p> <p>ア 気象観測</p> <p>イ 天気の変化</p> <p>(7) 霧や雲の発生</p> <p>【内取3(5) アのうち「水の循環」】</p> <p>(イ) 前線の通過と天気の変化</p> <p>ウ 日本の気象</p> <p>(7) 日本の天気の特徴</p> <p>(イ) 大気の動きと海洋の影響</p> <p>【内取3(5) ウ 大気の動き、地球の大きさや大気の厚さ】</p>

※ 内取…中学校学習指導要領における「内容の取扱い」を表す。